

## 化学療法レジメンセット 登録用紙

コード : N-26m

レジメン名称 : PEM+B-mab維持療法(N-26投与後)

適応がん種 : 非小細胞肺癌

インターバル日数 : 21日

予定コース数 : PDまで

医長名 : 呼吸器内科 田村 厚久

申請医師名 : 呼吸器内科 田村 厚久

確認薬剤師名 : 薬務主任 植木 大介

Rp.No.	癌	薬剤名	投与量	手技	投与経路	点滴時間・速度	day(1)
1		生理食塩液50mL	1本	点滴静注	末梢メイン	5分	Rp1 5分 生理食塩液50mL ↓ Rp2 30分 ペバシズマブ点滴静注 生理食塩液100mL ↓ Rp3 15分 DEX注6.6mg 生理食塩液 50ml ↓ Rp4 10分 ペメトレキセド注 生理食塩液100mL ↓ Rp5 5分 生理食塩液50mL
2 *		ペバシズマブ点滴静注	15mg/kg	点滴静注	末梢メイン	30分	
		生理食塩液 100mL	1本	※total 100mLとなるように調製			
3		デキサート注(デキサメタゾンとして)	6.6mg	点滴静注	末梢メイン	15分	
		生理食塩液 50mL	1本				
4 *		ペメトレキセド注射用	500mg/m <sup>2</sup>	点滴静注	末梢メイン	10分	
		生理食塩液100mL	1本				
5		生理食塩液50mL	1本	点滴静注	末梢メイン	5分	

上記表にて設定する抗がん剤について

Rp.No.	薬剤名	設定値	上限値
2	ペバシズマブ点滴静注	15mg/kg	
4	ペメトレキセド注射用	500mg/m <sup>2</sup>	

<特記事項>

- ①N-26投与後の維持療法レジメン
- ②維持療法のためペバシズマブの点滴時間が30分となっている
- ③ペバシズマブは総量が100mLとなるように調製する
- ④ペメトレキセド使用レジメンのため、治療開始7日前よりパンビタン、フレズミンを使用する。その後パンビタンは連日内服、フレズミンは9週毎に投与する。ペメトレキセド最終投与後、3週間は投与する。
- ⑤ペメトレキセドによる皮疹が懸念される場合は、投与前日～投与翌日までの3日間デキサメタゾン錠4mg×2回/日の内服が推奨される。